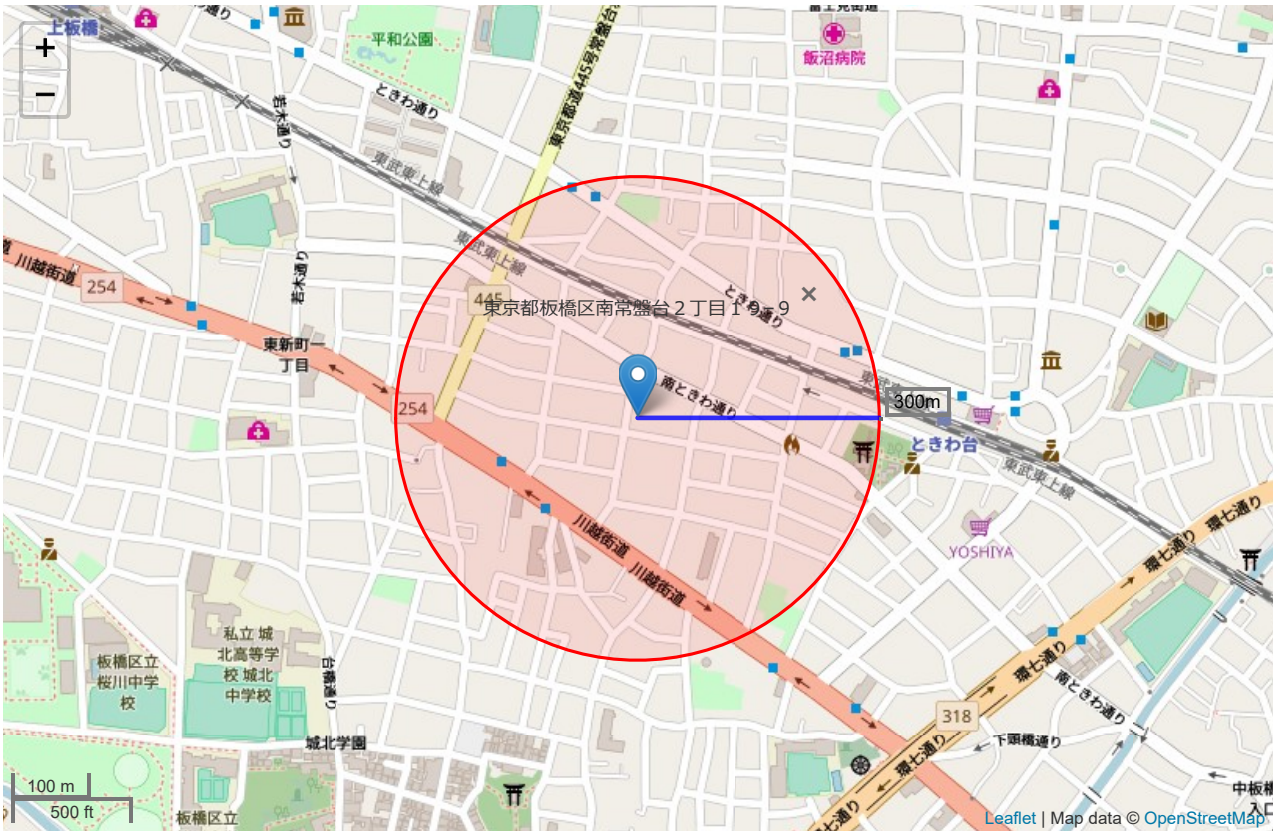
活断層

■調査対象範囲近辺の活断層

活断層診断では、独立行政法人防災科学技術研究所による活断層データベースをもとに、調査対象物件の所在地および周辺エリアの活断層の有無を診断します。

防災科学研究所の活断層データベース上で

確認出来ません



■備考

活断層とは、「新生代第4世紀に繰り返し活動し、今後の活動する可能性があるとみなされる断層、地震活動の余地に重要」 とあります。つまり、訳１００万年前より新しい時代に動いた形跡のある断層を活断層と呼びます。プレートの境界面に位置する日本列島は地盤に蓄積される歪みが大きく、周辺の海底も含めれば訳２、０００の活断層がある とも言われています。近い過去に繰り返し地震が発生している活断層では今後も地震が発生する可能性が高く、 活断層の位置や活動度の情報は防災上非常に重要です。 活断層による地震は、地価の比較的浅い部分で発生するため局地的に大きな被害をもたらす危険性があります。 特に、活断層が確認されている地域にお住いの方には、家具の固定、住宅の耐震補強等の、地震防災対策を取る上での 参考にして頂きたいと考えています。

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【防災科学研究所】 http://www.bosai.go.jp

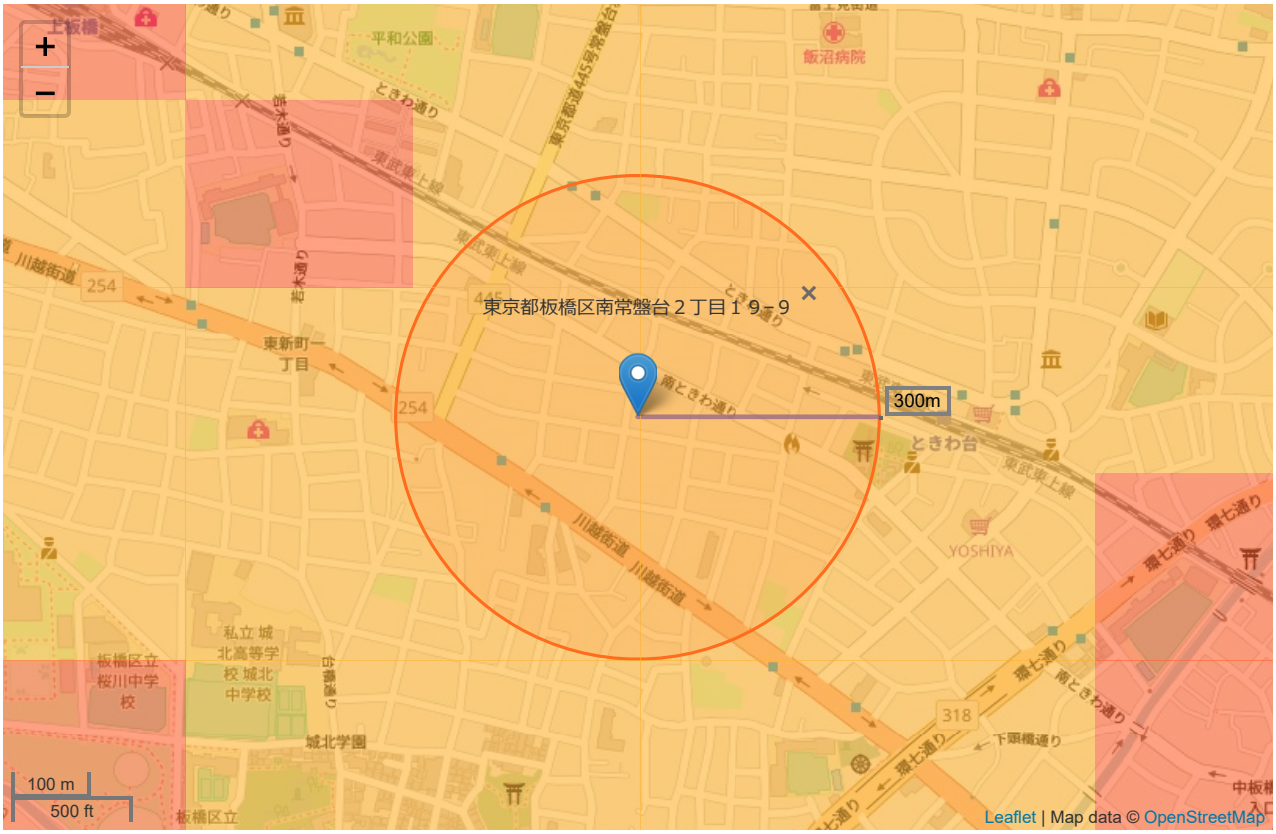
Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.

■調査対象範囲近辺の地震時の揺れやすさ

調査物件所在地での地震時の揺れやすさをレポートします。

地震時の揺れやすさ（微地形分類基準）：

やや揺れやすい(台地：1.55)



揺れにくい ◀ ▶ 揺れやすい

■0.5～0.6 ■0.6～0.8 ■0.8～0.9 ■0.9～1.0 ■1.0～1.2 ■1.2～1.4 ■1.4～1.6 ■1.6～2.0 ■2.0～2.5 ■2.5～3.8

■備考

地震時の揺れやすさは、その土地の地形より判定しています。揺れは震源地に近いほど大きくなり、また、地盤が軟らかいほど大きくなります。地震の揺れが増幅しやすい場所か、もしくは、増幅しにくい場所かという基準で揺れやすさを評価しています。

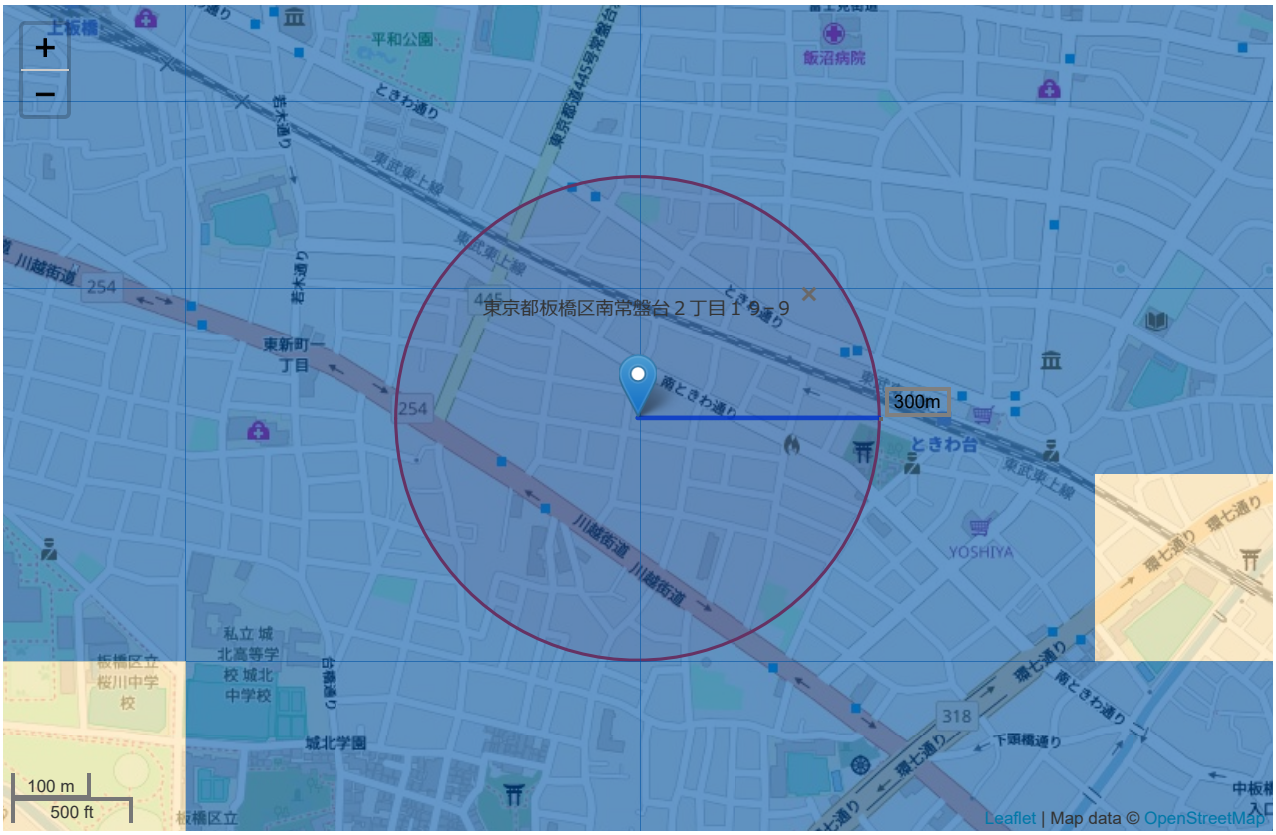
注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【防災科学技術研究所】 http://www.bosai.go.jp

Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.

■調査対象範囲近辺の液状化の可能性

調査対象物件所在地での液状化の可能性をレポートします。

液状化の可能性（微地形分類基準）：
非常に低い(台地)



液状化の可能性：

非常に低い	低い
■台地 ■丘陵 ■山地	■扇状地 ■砂丘
やや高い	**高い**
■自然堤防 ■後背湿地 ■砂州 ■三角州 ■干拓地 ■デルタ型谷底平野	■埋立地 ■旧河道 ■砂丘間低地等軟弱地盤

■備考

液状化の可能性は微地形分類を基に地盤表層における可能性を表したものです。あくまでも一定の条件のもとでの結果ですので、地震防災対策の参考までに活用ください。

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【防災科学技術研究所】 http://www.bosai.go.jp

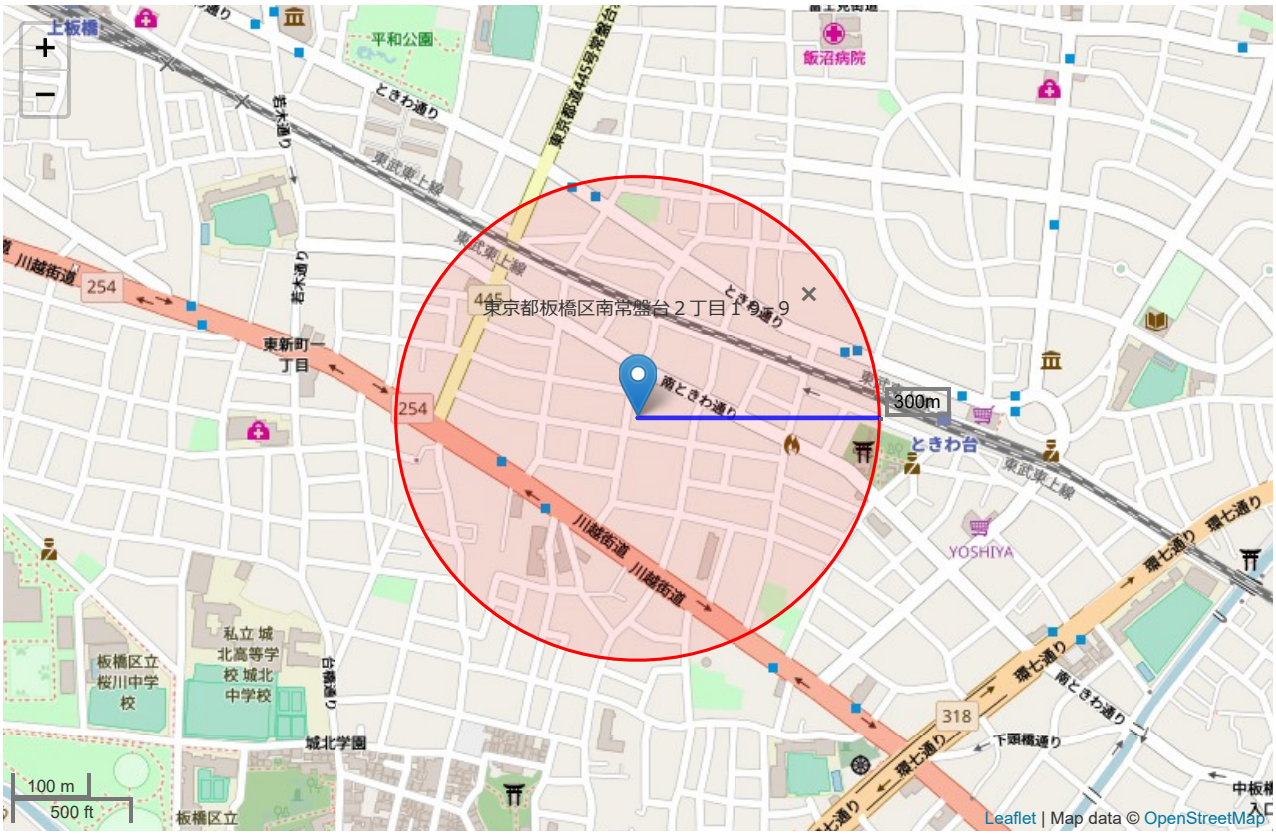
Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.

浸水想定区域

■調査対象範囲近辺の浸水想定区域

浸水想定区域診断では、河川管理者（国土交通大臣、都道府県知事）から提供された浸水想定区域図について、調査対象物件の所在地および周辺エリアの河川浸水時の危険性を診断します。

河川管理者（国土交通大臣、都道府県知事）の浸水想定区域データベース上で
確認出来ません



7段階表示：■0～0.5m未満 ■0.5～1.0m未満 ■1.0～2.0m未満 ■2.0～3.0m未満 ■3.0～4.0m未満 ■4.0～5.0m未満 ■5.0m以上

■備考

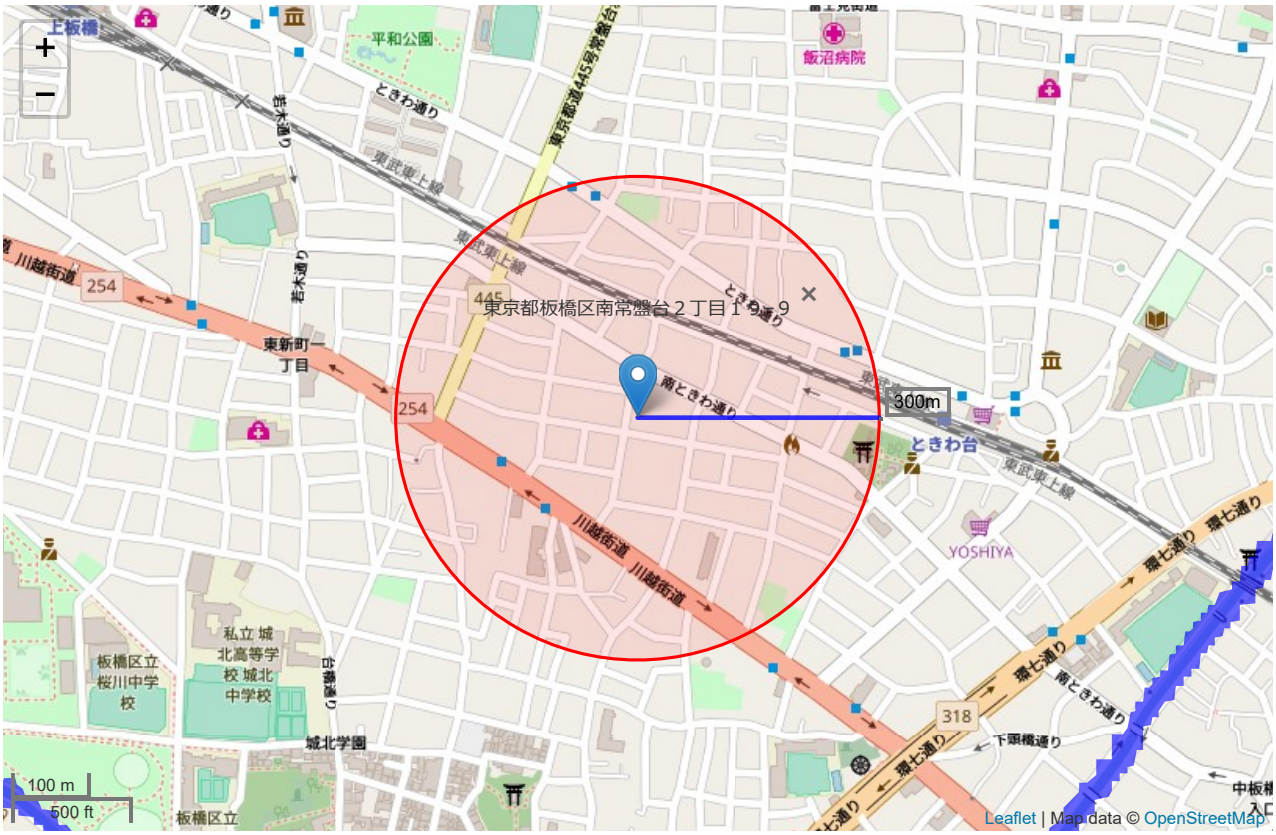
河川管理者（国土交通大臣、都道府県知事）から提供された浸水想定区域図について、製品仕様に基づく電子化し浸水深ごとにポリゴンデータを生成し、都道府県別に整備したものです。

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【国土交通省】 http://www.mlit.go.jp

Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.

■調査対象範囲近辺の低位地帯

調査対象物件の所在地および周辺エリアに所在する、低位地帯情報をレポートします。



■距離の近い順(最大8件)

最大浸水深(m)	面積(ha)	住所	直線距離(m)
7.6	10.10	東京都板橋区大和町	708
5.3	1.00	東京都板橋区桜川一丁目	855

■備考

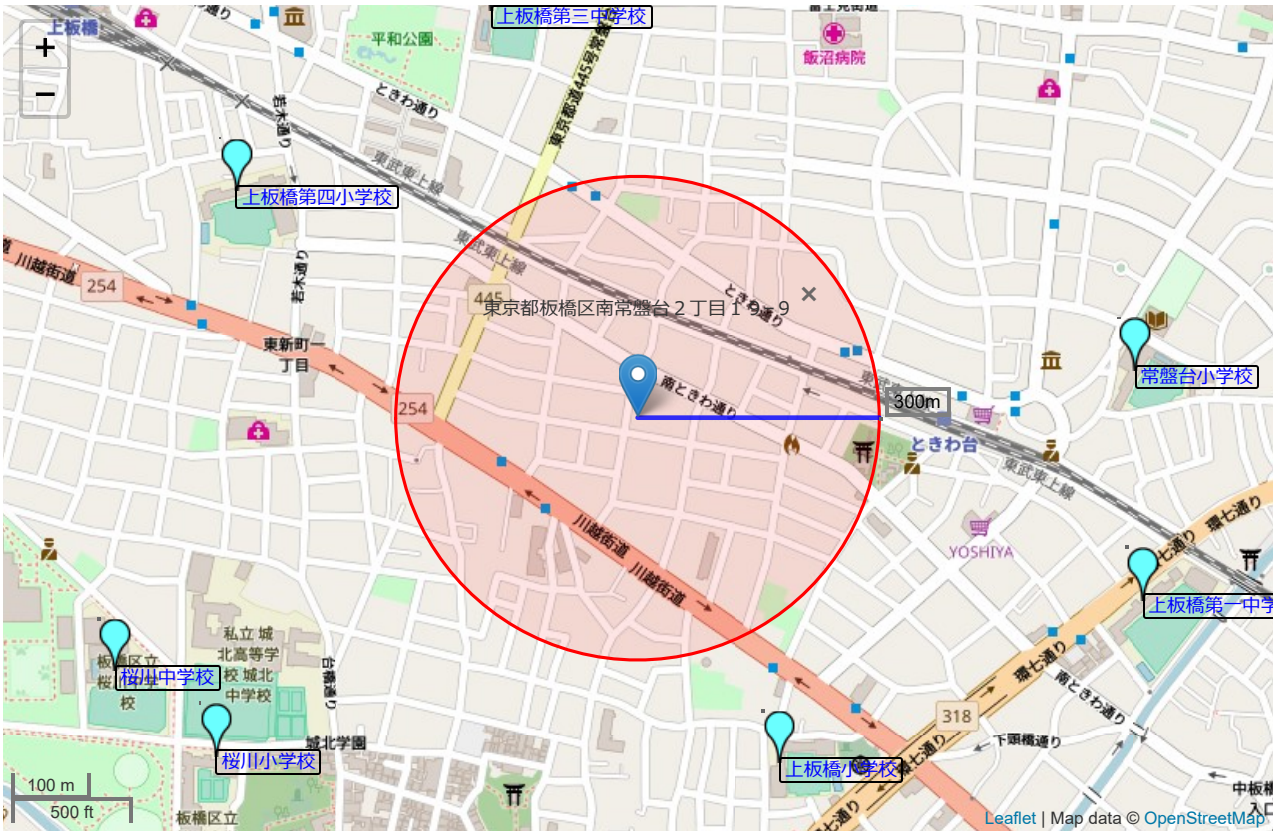
調査対象物件の所在地および周辺エリアに所在する、低位地帯情報をレポートします。

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【国土交通省】 http://www.mlit.go.jp

Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.

■調査対象範囲近辺の避難施設

調査物件の周辺エリアにある避難施設をレポートします。



■距離の近い順(最大5件)

項番	名称	住所	収容人数	直線距離(m)
1	上板橋小学校	東京都板橋区東山町47-3	930	461
2	上板橋第三中学校	東京都板橋区常盤台3-30-1	610	541
3	上板橋第四小学校	東京都板橋区上板橋1-3-1	1,090	574
4	常盤台小学校	東京都板橋区常盤台1-6-1	1,010	619
5	上板橋第一中学校	東京都板橋区南常盤台1-1-1	1,140	664

注意事項
地図上に表示される各種アイコンなどの情報は、付近住所に所在することを表すものであり、物件・施設などの地点を保証するものではありません。
※情報発信元：【国土交通省】 http://www.mlit.go.jp

Copyright © FIVES Co., Ltd. All rights reserved.